

時代が変っても、始まりは同じ

新築工事を承った時に、まず考えるのが地鎮祭。様々な考え方がありますが、^{さらち}新地に建物を建てる事は土地の神様に挨拶をし、工事の安全な進行を祈念し、施主様の繁栄を願う気持ちを持つ、と私達は考えています。今の時代は地鎮祭を知らない、手配はどうしたら良いか分からない、と言われる施主さんも多いのも事実です。もちろん必要であれば、段取りも我々が全て行いますので大丈夫です。

時代が変わっても施主様への感謝の気持ちと共に、伝統を守り続けるべき事と思います。



やはり始めが肝心。全てはここから始まります。

発行：意外と思う事でも私たちは出来ます。(有) 渡辺賢工務店